[DS50-N1021-00B]

BIOS マニュアル

BIOS セットアップユーティリティとは

BIOS セットアップユーティリティとは BIOS の設定を確認・変更するためのツールです。セットアップユーティリティは、本体に内蔵されているマザーボード上のフラッシュメモリに格納されています。

このユーティリティで定義されている設定情報は、CMOS RAM と呼ばれる特殊な領域に格納されています。この設定情報は、マザーボードに搭載されているバッテリによって保存されているため、コンピュータの電源を OFF・リセットしても消えることはありません。

また、このユーティリティは、コンピュータが起動するたびに設定情報のチェックを行います。保存されている設定情報と接続されているハードウェアが異なるなどした場合に、自動的にセットアップユーティリティを実行するように要求することがあります。

注意事項

BIOS の設定を間違えると、深刻なトラブルの原因になります。BIOS の設定を変更する場合は細心の注意を払ってください。

このマニュアルの内容がわからない・わかりにくい場合は、BIOS の設定を変更しないことを推奨いたします。

目次

基本操作

- BIOS セットアップユーティリティを起動する

1. コンピュータの電源を入れます。
2. ONKYO ロゴ画面が表示されたら、[F2] キーを押します。
3. BIOS セットアップユーティリティが起動します。

- BIOS セットアップユーティリティを操作する

```
PhoenixBIOS Setup Utility
Main    Advanced    Security    Boot    Exit

System Time:                 [00:00:00]
System Date:                 [00:00:00]

Processor Info:              Intel ® xxxxxxxxxxxxx
Installed System Memory:     xxxxMB

Sata Port 1:                 xxxxxxx xxxxxxxxxxxx xx
Sata Port 2:                 xxxxxxx xxxxxxxxxxxx xx

System BIOS Version:         Sx.xx
KBC BIOS Version:            Rx.xx

LAN Mac Address:             xx-xx-xx-xx-xx-xx

F1   Help  ↑↓  Select Item  -/+    Change Values        F9   Setup Default[
Esc  Exit  ←→  Select Menu  Enter  Select > Sub-Menu    F10  Save and Exit
```

↑ / ↓	アイテムを選択します。
← / →	メニューを選択します。
―/+	値の変更をします。
F1	ヘルプを表示します（英語）。
F9	工場出荷時の設定をロードします。
F10	設定を保存して、BIOS セットアップユーティリティを終了します。
ESC	セットアップユーティリティ もしくは メニューを終了します。
Enter	選択 もしくは サブメニューを表示します。

- 設定を保存して、BIOS セットアップユーティリティを終了する

1. BIOS セットアップユーティリティを起動します。
2. “ Exit “ メニューを選択します。
3. “ Save Changes and Exit” を選択し、[Enter] キーを押します。
4. “Save configuration changes and exit setup“ が表示されたら、”OK“ を選択し [Enter] キーを押します。
5. BIOS セットアップユーティリティが終了します。

- BIOS を初期化する

1. BIOS セットアップユーティリティを起動します。
2. “Exit“ メニューを選択します。
3. “Load Setup Defaults“ を選択し、[Enter] キーを押します。
4. “Setup Confirmation / Load default configuration now?“ が表示されたら、”Yes“ を選択し [Enter] キーを押します。
5. 設定を保存して、BIOS セットアップユーティリティを終了します。

高度な操作

- ビデオメモリを設定する

本製品では、インテル(R) ダイナミック・ビデオメモリー・テクノロジー (DVMT)によりビデオメモリ容量を動的に管理しています。設定を行うことはできません。

- デバイスの起動順位を設定する

1. BIOS セットアップユーティリティを起動します。
2. “Boot” メニューを選択します。
3. “Boot Priority order“ にて、優先して起動したいデバイスを指定します。
4. 設定を保存して、BIOS セットアップユーティリティを終了します。

※ HDD, CD/DVD は、”Boot” - ”Hard Disk Drives”、 ”Boot” - ”CD/DVD Drives”で別途、それぞれ優先したいデバイスを設定する必要があります。

● BIOS パスワードを設定・削除する

BIOS セットアップユーティリティの起動、コンピュータの起動などを制限できます。
ここでは、Supervisor Password を設定する手順を紹介します。また、User Password についても同様の手順で設定することができます。

[BIOS パスワード：有効にする]

1. BIOS セットアップユーティリティを起動します。
2. “ Security “メニューを選択します。
3. “Set Supervisor Password” を選択し、[Enter]キーを押します。
4. “Enter New Password” に設定したいパスワードを入力し、[Enter]キーを押します。
5. “Confirm New Password” で先ほどと同じパスワードを入力し、[Enter]キーを押します。
6. “Setup Notice / Changes have been saved.” と表示されたら、
 ”Continue“ で[Enter]キーを押します。
7. 設定を保存して、BIOS セットアップユーティリティを終了します。

[BIOS パスワード：無効にする]

1. BIOS セットアップユーティリティを起動します。
2. “Security“メニューを選択します。
3. “Set Supervisor Password” を選択し、[Enter]キーを押します。
4. ”Enter Current Password “と表示されたら、現在のパスワードを入力します。
5. ”Enter New Password “と”Confirm New Password”には何も入れず、
 空欄のまま[Enter]キーを押します。
6. “Setup Notice / Changes have been saved.” と表示されたら、
 ”Continue“ で[Enter]キーを押します。
7. 設定を保存して、BIOS セットアップユーティリティを終了します。

パスワード忘れについて

パスワードを忘れると、コンピュータの起動・ハードディスクへのアクセスができなくなります。

User Password を忘れた場合は、Supervisor Password で BIOS セットアップユーティリティを起動して、User Password を再設定してください。

Supervisor Password を忘れた場合は、修理（有償）が必要となります。
無償修理期間であっても有償となりますので、ご注意ください。

参考

Main		
	System Time	時間を設定できます
	System Date	日付を設定できます
Advanced		
	USB BIOS Legacy Support	レガシーUSB のサポートを有効にします
	Frame buffer size	ビデオメモリとしてシェアする容量を設定します
	SATA0 Mode	SerialATA の動作モードを選択します
Security		
	Set Supervisor Password	管理者パスワードを設定します
	Set User Password	ユーザパスワードを設定します
	Password on Boot	起動時のパスワード保護を有効にします
Exit		
	Exit Saving Changes	変更を保存してユーティリティを終了します
	Exit Discarding Changes	変更を保存せずユーティリティを終了します
	Load Setup Defaults	工場出荷設定をロードします
	Discard Changes	変更を破棄します
	Save Changes	変更を保存します